

高齢者歯科学（歯科医療の展開）

| | |
|----------|--|
| 4 年次 前学期 | 授業科目責任者：前田 隆秀（小児歯科学） ユニット責任者：川良 美佐雄（顎口腔機能治療学） |
|----------|--|

| | |
|--------------------------|---|
| 学習の目標 (GIO) | わが国における高齢者は、2010年10月において対全人口比で65歳以上が23.1%に達し、2035年には33.7%になると予測されている。このような超高齢社会において歯科医学、歯科医療の担う比重は大きい。高齢者にとって食べられるということは、QOLの最上位に位置すると言って過言ではなく、口腔保健の良否が生活を左右する。また、目標とされる健康長寿社会への貢献については関連分野との連携が重要である。したがって、顎口腔系の加齢変化および歯科的対応はもとより、高齢者をとりまく社会経済的環境、保健福祉制度をはじめとして、慢性疾患、薬物動態、全身管理についても理解を深めておかなければならない。 GIO：健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。 |
| 授業担当者 | 川良美佐雄（顎口腔機能治療学）、那須郁夫（地域保健学）、坂巻達夫（内科学）、大口純人（内科学）、渋谷 鑞（歯科麻酔学）、山根潤一（薬理学）、大峰浩隆（顎顔面矯正学）、平野浩彦（有床義歯補綴学・東京都健康長寿医療センター研究所）、梅澤幸司（障害者歯科学）、菊谷 武（日本歯科大学附属病院・口腔介護-リハビリテーションセンター）斎藤孝親（医療情報学）、飯田 崇（顎口腔機能治療学）、竹蓋道子（衛生士専門学校）、黒木俊一（顎口腔機能治療学） |
| 教科書 | 特に指定するものはない。 |
| 参考図書 | 高齢者歯科ガイドブック：植松 宏、稲葉 繁、渡辺 誠 編集、医歯薬出版 高齢者歯科医療マニュアル：上田 裕 監修、永末書店 有病高齢者歯科治療のガイドライン：西田百代 著、クインテッセンス出版 高齢者歯科学：渡辺 誠 監修、永末書店 新老年学（第2版）：折茂 肇 編集代表、東京大学出版会 |
| 実習器材 | 特になし |
| 評価方法 (EV) | 平常試験（30%）試験範囲：第1回～第7回講義 定期試験（70%）試験範囲：第1回～最終講義 特定の講義や課題に偏ることはない。 問題形式は多肢選択問題および記述問題の混合形式とします。 |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 毎回の講義のポイントをおさえること。 すでに超高齢社会（21%以上）となったいま、高齢者歯科学の基礎を学び、しっかりと対応してゆこう。 医科、看護、介護、社会福祉といった関連領域では歯科に対する期待も大きい。協働に備えよう。 |

| 日程 | 授業項目 | 授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準 | 授業担当者 |
|-------------------------------|---------------------------|---|---------------|
| 4月10日(火) 2時間 9:00～10:50 | 高齢社会の現状 加齢に伴う歯、顎、口腔の変化 | 【準備学習項目】 ・日本の人口動態を説明できる。 ・老化の機序を説明できる。 ・加齢に伴う歯、顎、口腔の変化を説明できる。 【講義】 ・人口統計学の立場から見たわが国の少子化、高齢化の伸長を知り、将来の人口動態を推論できる。 ・老化の機序を説明できる。 ・加齢に伴う歯、顎、口腔の生理的、機能的変化を説明できる。 ・老化の身体的、精神的、心理的特徴を説明できる。 F-4-3)- 必-7-C-a～k、必-7-D-ab 総- -1-H,I、総- -6-A,B、総- -12-ABC、 総- -5-A～J 各- -()-1-C | 川良美佐雄 |
| 4月17日(火) 2時間 9:00～10:50 | 高齢者の保健・医療・福祉 | 【準備学習項目】 ・高齢者に関連する保健、社会福祉制度を説明できる。 【講義】 ・わが国の高齢者に関する、保健、医療、福祉制度とその連携について説明できる。 ・老人保健法の枠組みにおける、老人医療と保健事業のあり方を知り、歯科医師の役割を説明できる。 ・新しい社会保障制度としての公的介護保険制度について概略を述べ、歯科医療との関わりについて説明できる。 C-2-2)- ~ 必-3- G-abc、必-16- B-a～e 総- -3- A～H、総- -4- H総- -6-A～G | 那須郁夫 川良美佐雄 |

| 日程 | 授業項目 | 授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準 | 授業担当者 |
|-------------------------------|----------------------|--|---------------|
| 4月24日(火) 2時間 9:00～10:50 | 高齢者医療の特徴 | 【準備学習項目】 ・高齢者で頻度の高い疾患を挙げることができる。 【講義】 ・高齢者の生理的・機能的変化について説明できる。 ・高齢者医療の特徴を説明できる。 ・高齢者で頻度の高い全身疾患について説明できる。 ・胃瘻について説明できる。 D-2-4)- F-4-3)- 必-9-A-a、 総- -6-A～G | 坂巻達夫 川良美佐雄 |
| 5月1日(火) 2時間 9:00～10:50 | 高齢者の慢性疾患と歯科の対応 | 【準備学習項目】 ・高齢者が罹患しやすい慢性疾患を挙げ、歯科診療時の注意点を説明できる。 【講義】 ・高齢者歯科治療に際し、配慮すべき慢性疾患を挙げ、説明できる。 ・上記疾患に対する歯科診療での注意点を説明できる。 ・糖尿病を説明できる。 ・動脈硬化を説明できる。 F-1-3)-(1)-、F-4-3)- 必-15-AB-b、総- -2-L | 大口純人 川良美佐雄 |
| 5月8日(火) 2時間 9:00～10:50 | 高齢者歯科診療における全身管理 | 【準備学習項目】 ・高齢者歯科診療における全身管理の要点を説明できる。 【講義】 ・高齢者歯科診療でのモニタリングを説明できる。 ・循環器疾患患者での術前評価と注意点を説明できる。 ・脳血管障害患者での術前評価と注意点を説明できる。 F-1-3)-(1)-、F-4-3)- 必-15-J-a,b,c | 渋谷鏡 川良美佐雄 |
| 5月15日(火) 2時間 9:00～10:50 | 高齢者歯科と薬物 | 【準備学習項目】 ・高齢者における薬物の体内動態について説明できる。 【講義】 ・高齢者における薬物の体内動態について説明できる。 ・高齢者の薬物投与の原則を説明できる。 ・投薬の実際について説明できる。 F-4-3)-、F-4-3)-(1)- 必-15-Z-a～i | 山根潤一 川良美佐雄 |
| 5月22日(火) 2時間 9:00～10:50 | 高齢者の心理と精神機能障害 | 【準備学習項目】 ・認知症の分類とそれぞれの特徴を説明できる。 【講義】 ・高齢者の心理状態、および「ぼけ」について説明できる。 ・認知症の分類とそれぞれの特徴を説明できる。 ・症状改善の方略について説明できる。 F-4-3)- 必-15-AB-b、総- -7-A～E、総- -5-B、 | 大峰浩隆 川良美佐雄 |
| 5月29日(火) 2時間 9:00～10:50 | 平常試験 | 平常試験 | 川良美佐雄 黒木俊一 |
| 6月5日(火) 2時間 9:00～10:50 | 高齢者歯科治療の実際 | 【準備学習項目】 ・有病高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。 【講義】 ・有病高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。 ・医科との連携について説明できる。 ・入院治療の実際について説明できる。 ・高齢者の生活環境と口腔実態の関わりについて説明できる。 F-4-3)- 総- -5-A～I、総- -2-L、 | 平野浩彦 川良美佐雄 |
| 6月12日(火) 2時間 9:00～10:50 | 高齢者の摂食嚥下障害とリハビリテーション | 【準備学習項目】 ・高齢者の摂食嚥下障害を説明できる。 ・摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 【講義】 ・機能の減退に伴う摂食、嚥下障害の機序について説明できる。 ・摂食、嚥下障害と歯科領域の関連について説明できる。 ・摂食、嚥下障害のリハビリテーションについて説明できる。 C-2-2)- F-2-4)-(8)-、F-4-3)- 国試:必-15-AA-a,b、必-9-A-a、必-9-C-k | 梅澤幸司 川良美佐雄 |

| 日程 | 授業項目 | 授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準 | 授業担当者 |
|-------------------------------|--------------------|---|------------|
| 6月19日(火) 2時間 9:00～10:50 | 高齢者の口腔介護・リハビリテーション | 【準備学習項目】 ・高齢者の摂食嚥下障害を説明できる。 ・摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 【講義】 ・口腔機能向上による介護予防について説明できる。 ・摂食・嚥下リハビリテーションの実際を説明できる。 C-2-2)- F-2-4)-(8)-、F-4-3)- 国試: 必-15-AA-a,b、必-9-A-a、必-9-C-k | 菊谷武 川良美佐雄 |
| 6月26日(火) 2時間 9:00～10:50 | 要介護高齢者と歯科 | 【準備学習項目】 ・介護施設を説明できる。 ・介護施設での口腔保健を説明できる。 【講義】 ・特別養護老人施設について説明できる。 ・施設における高齢者の口腔ケアについて説明できる。 ・高齢者と介護者の関わりについて説明できる。 ・要介護高齢者の食事の実際について説明できる。 ・高齢患者とのコミュニケーション技法を説明できる。 B-2-1)- C-2-2)- F-4-3)- 必-15-D-c,d、必-16-B-c 総-3-A～H、総-5-F | 齊藤孝親 川良美佐雄 |
| 7月3日(火) 2時間 9:00～10:50 | 在宅歯科医療 | 【準備学習項目】 ・在宅歯科医療にかかわる社会保障制度を説明できる。 ・在宅歯科医療における注意点を説明できる。 【講義】 ・在宅歯科医療にかかわる社会保障制度を説明できる。 ・在宅歯科診療の実際を説明できる。 ・在宅歯科診療での注意点について説明できる。 A-3- F-4-3)-、 必-15-D-c,d 総-4-H、総-2-L、 | 飯田崇 川良美佐雄 |
| 7月10日(火) 2時間 9:00～10:50 | 高齢者におけるオーラルヘルスケア | 【準備学習項目】 ・高齢者における口腔ケアの重要性を説明できる。 【講義】 ・高齢者における口腔ケアの重要性を説明できる。 ・高齢者歯科診療での歯科医師と歯科衛生士の連携について説明できる。 ・高齢者の口腔清掃指導について説明できる。 ・地域保健における歯科衛生士の役割を説明できる。 C-3-2)- F-1-6)-(2)-、F-4-3)- 必-15-AA-a,b、必-16-ABCDE 総-6-DE | 竹蓋道子 川良美佐雄 |
| 7月17日(火) 2時間 9:00～10:50 | 高齢者と臨床検査医学 | 【準備学習項目】 ・臨床検査データから全身状態を説明できる。 【講義】 ・高齢者における罹患頻度の高い慢性疾患を説明できる。 ・臨床検査データから全身状況を説明できる。 ・医師との連携が円滑に行える。 ・全身状態に応じた歯科治療を選択できる。 A-3- F-4-3)- 必-9-A、必-11-ABC、必-12-C | 黒木俊一 川良美佐雄 |